

# 平成26年度 病虫害発生予察注意報第1号

平成26年4月9日  
静岡県病虫害防除所長

病虫害名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）

対象作物：落葉果樹（うめ、もも、キウイフルーツ、なし、かき等）、びわ、  
かんきつ

## 1 注意報の内容

- (1) 発生が予想される地域：県内全域
- (2) 発生が予想される時期：4月中旬～8月中旬
- (3) 発生程度：多い
- (4) 防除時期：4月中旬～8月中旬

## 2 注意報発表の根拠

- (1) 昨年、県内全域で果樹カメムシ類の餌となるスギ、ヒノキ毬果の結実量が多かったため、8月以降の成虫の発生量が多く、10月の予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数は平年の3倍、ツヤアオカメムシの誘殺数は平年の5.6倍に達した。
- (2) 本年1月の雑木林の落葉中におけるカメムシ類の成虫の越冬量調査では、県下全域の1㎡あたりの平均越冬成虫数は、チャバネアオカメムシは4.4頭（平年0.7頭）（図1、2、3）、ツヤアオカメムシは0.4頭（平年0.03頭）と平年より多かった（図4）。
- (3) 本年は、カメムシ類の越冬量が多く、餌となるスギ・ヒノキの毬果が少ないことから、カメムシ類が餌を求めて果樹園へ多数飛来する可能性がある。

## 3 防除方法

- (1) 越冬成虫は、8月中旬まで生存するため、うめ、もも、びわの園地では着果期から収穫期まで、キウイフルーツ、なし、かき、かんきつの園地では夏季まで加害が続く（図5、6）。
- (2) 今後は、カメムシ類の飛来に注意し、ほ場で寄生を確認したら直ちに薬剤防除を行う。成虫の移動範囲は広いので、地域での一斉防除が効果的である。スギ、ヒノキ林の隣接地域では特に注意する。
- (3) 農薬による防除については「農薬安全使用指針・農作物病虫害防除基準

(ホームページ <http://www.s-boujo.jp/>)」を参照する。

- (4) 今後の発生状況は、予察灯・フェロモントラップへの誘殺消長が参考になる。誘殺情報は病虫害防除所ホームページ (<http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/boujo/boujo.html>) で提供している。
- (5) 不明な点については、病虫害防除所、農林技術研究所果樹研究センター、または最寄りの農林事務所、農協等に問い合わせる。

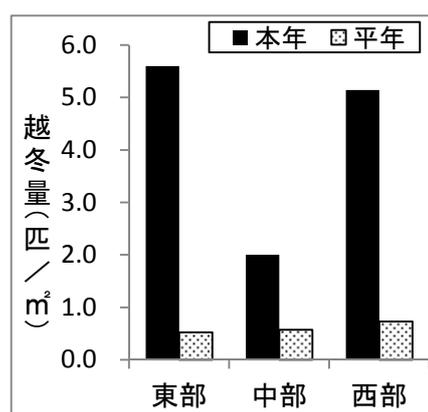
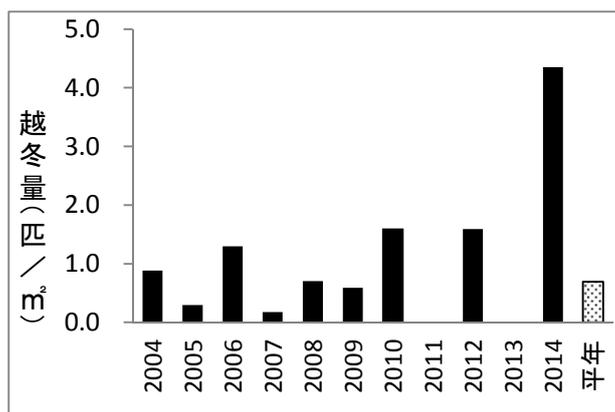


図1 チャバネアオカメムシの越冬量 (年次別)

図2 チャバネアオカメムシの越冬量 (地域別)



図3 チャバネアオカメムシ成虫



図4 ツヤアオカメムシ成虫



図5 なしに寄生するチャバネアオカメムシと吸汁により陥没した果実



図6 カメムシの吸汁により陥没したキウイフルーツ

問い合わせ先：静岡県病虫害防除所 (TEL: 0538-36-1543)